

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り8.79人と増加しています。安芸区18.5人、西区13.3人、南区11.3人、安佐北区10.3人となっています。

また、感染性胃腸炎の集団発生は、11月になって3件報告されています(うち2件はノロウイルスが原因)。

2. RSウイルス感染症

定点当り0.50人と多い状態が続いています。

広島市衛生研究所の検査結果では11月にRSウイルスが5件検出されています。また、基幹病院2か所からの迅速診断キットによる報告も増加傾向にあります。

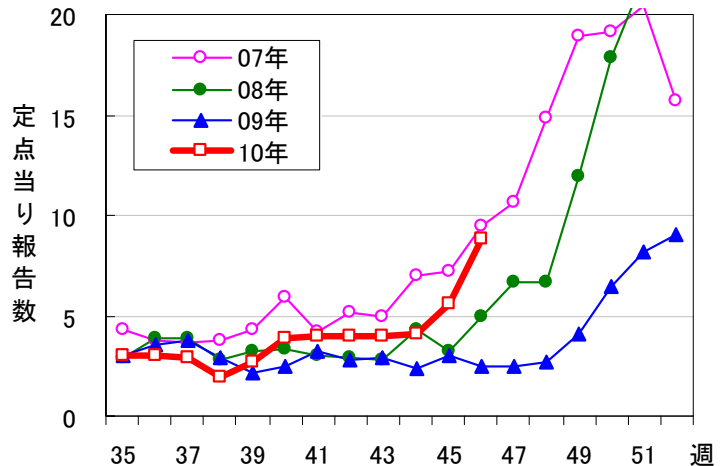
3. 腸管出血性大腸菌感染症

1件(O157)の報告があり、今年の累計は46件となりました。2000年以降では、過去最高の2004年(年間報告数:48件)の次に多い報告数です。

4. インフルエンザ

第43週以降の報告はありません。

感染性胃腸炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	8.16		ヘルパンギーナ	-	-	0.07	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.33		流行性耳下腺炎	21	0.88	0.95	⇒
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.88	1.12	⇒	RSウイルス感染症	12	0.50	0.34	
感染性胃腸炎	211	8.79	8.35	⇒	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	44	1.83	1.61	⇒	流行性角結膜炎	10	1.25	0.78	
手足口病	-	-	0.15		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	2	0.08	0.06		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発しん	16	0.67	0.54		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.46	
百日咳	3	0.13	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	2	204	男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	46	女性(50歳代)・O157

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第42週	3	2	17	96	17	6	1	14	4	2	30	2	－	5	1	－	2	－
		第43週	－	1	16	96	20	2	1	15	6	－	17	11	－	5	－	－	5	－
		第44週	－	5	22	98	26	1	1	11	7	－	25	12	－	7	－	－	7	－
		第45週	－	3	11	133	42	1	－	16	1	－	20	6	－	6	－	－	3	－
		第46週	－	6	21	211	44	－	2	16	3	－	21	12	1	10	－	－	1	－
		第47週	0.08	0.08	0.71	4.00	0.71	0.25	0.04	0.58	0.17	0.08	1.25	0.08	－	0.63	0.14	－	0.29	－
定点当り	広島市	第43週	－	0.04	0.67	4.00	0.83	0.08	0.04	0.63	0.25	－	0.71	0.46	－	0.63	－	－	0.71	－
		第44週	－	0.21	0.92	4.08	1.08	0.04	0.04	0.46	0.29	－	1.04	0.50	－	0.88	－	－	1.00	－
		第45週	－	0.13	0.46	5.54	1.75	0.04	－	0.67	0.04	－	0.83	0.25	－	0.75	－	－	0.43	－
		第46週	－	0.25	0.88	8.79	1.83	－	0.08	0.67	0.13	－	0.88	0.50	0.13	1.25	－	－	0.14	－
		第47週	0.20	0.22	1.15	5.31	0.95	0.36	0.30	0.52	0.03	0.07	1.10	0.47	0.01	0.59	0.02	0.03	0.60	0.03
	全国	第45週	0.25	0.31	1.44	7.70	1.27	0.34	0.31	0.54	0.03	0.06	1.22	0.53	0.01	0.61	0.03	0.03	0.72	0.05

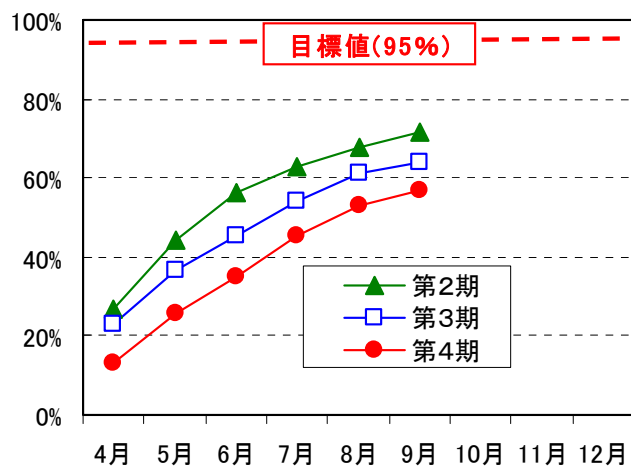
■新たに判明した病原体検出状況

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	上気道炎 嘔吐 下痢	4	男	2010/10/11	糞便	アデノウイルス41型
川崎病	発熱 発疹 リンパ節腫脹	1	男	2010/10/12	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における麻しん風しん予防接種の累積接種率

麻しん風しん予防接種の累積接種率(平成22年度)



麻しんに対する最も有効な予防方法は予防接種です。
定期予防接種(無料)の接種対象年齢になったら、なるべく早くワクチンを接種しましょう。

麻しん風しんの定期予防接種は1期(1歳児)、2期(小学校就学前の1年間)のほか、予防接種をこれまでに1回しか受けていない年齢層を対象に、平成20年度から5年間の期間限定で、第3期(中学1年生相当)、第4期(高校3年生相当)が追加されています。

しかし、広島市における9月までの累積接種率は、第3期が64%、第4期が57%と、第2期の72%と比較するとかなり低くなっています。

接種期間を過ぎると任意の予防接種(全額自己負担)となりますので注意してください。

定期予防接種についてのお問合せは、各区保健センターまたは健康福祉局保健医療課へ（電話504-2622）

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第46週(11月15日~11月21日)